

# 「進行泌尿器癌患者の終末期に関する観察研究」へのご協力をお願い

—平成23年4月1日から平成27年3月31日までの間に当科で癌の治療を行い亡くなられた患者さんのご家族の方へ—

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の意義

終末期のがん患者さんやご家族にとって、どこで最期の時を迎えるかは大変困難な決断をしなければならないことがあります。緩和ケア病棟のない急性期病院では、抗がん剤などの積極的治療を中止する場合、緩和病棟のある病院への転院や在宅治療などを考慮しなければなりません。近年、緩和ケア病棟の増加や緩和ケアに関する認知度も広がっているといった報告もあるものの、まだ十分ではありません。

最近、進行肺がんの患者さんに早期から緩和ケアを導入すると終末期に緩和ケアを導入した患者さんと比較して、生存期間が延長したとの報告があります。泌尿器科で治療を行うがんについて、緩和ケアの導入により生存期間がどの様に変化したのかを把握することは大変重要なことと思われまます。

### 2) 研究の目的

前立腺がんや膀胱がん、腎がんといった泌尿器科の対象となるがん患者さんを、当院で亡くなられた方たちのグループと緩和ケア病院あるいはご自宅で亡くなられた方たちのグループとに分けて、各々のグループで生存期間に差があるかどうかを調べることを目的にしています。

なお、この研究の実施にあたり、企業などからの資金提供やデータ収集や解析といった労力の提供は一切受けません。

## 2. 研究の方法

平成23年4月1日から平成27年3月31日までの間に、当院において泌尿器科がんの治療を受けた方で、研究者が診療情報をもとに診断された時の状況やがんそのものの性質を示す検査結果および診療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行います。その上で、治療をどう選択されたかで、患者さんの状態がどのように変化したかについて調べます。

## 1)使用する試料・情報

本研究では、試料(血液、体液など人の体から採取されるもの)は扱いません。研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、亡くなられた患者さんの個人情報(削除し、匿名化して、個人情報が漏洩しないように、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

・最終入院日から死亡までの生存期間

・年齢、採血の結果、併存疾患、全身状態、ソーシャルワーカーの介入率、死亡場所

## 2)情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後10年間保存させていただきます。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当ホームページに研究内容を掲示しません。

## 3)情報の保護

患者さんの情報は、当院が管理するコンピュータで管理し、IDやパスワードを用いて厳重に管理します。

## 3. 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、この研究の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。また、この研究では個人情報が分からない形にしてデータ収集を行います。研究の結果は、学会や論文で発表しますのでご了承ください。

## 4. 亡くなられたご家族の情報の使用を望まれない場合

亡くなられたご家族の情報が研究に使用されることをについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、平成29年12月31日までに下記の連絡先に申し出てください。この場合も、ご家族が当院で受ける診療をはじめとする病院サービスにおいて不利益を受けることはありません。

※この研究にご質問などあれば下記の連絡先にお問い合わせください。

医療法人原三信病院 泌尿器科

氏名 志賀健一郎

お問い合わせ先; 092-291-3434 (代表) 平日午前10時より午後4時まで